

報道発表資料の配付日時 12月26日 (月) 17時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度「北の住まいるタウン」 まちづくりセミナー・まちづくり交流会の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 道では、誰もが安心して心豊かに住み続けられことができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の実現に向け取り組んでいます。</p> <p>この取組の一環として、下記のとおり「北の住まいるタウン」まちづくりセミナー・まちづくり交流会をそれぞれ開催します。</p> <p>※詳細は別添チラシを参照</p>		
		まちづくりセミナー	まちづくり交流会
1 とき	令和5年2月3日(金)	令和5年2月15日(水)	
2 対象	まちづくりに関心のある 道内在住の方	道内市町村職員	
3 内容	道内外先進4事例の紹介	二つのテーマを設け、最前線でテーマに取り組む講師陣からノウハウを学び意見交換や相談を通じ理解を深める。	
4 開催形態	オンライン (Zoom) 開催	同左	
5 申込締切	令和5年1月31日(火)	令和5年1月25日(水)	
6 定員	70人	各テーマ20人(計40人)	
7 申込方法	別添チラシの申込フォームもしくは、「氏名」「電話番号」「所属・役職」「メールアドレス」「CPD申請の有無(まちづくりセミナーに限る)」を記載の上、(株)石塚計画デザイン事務所(担当:蔵田・小林)あてEメールのいずれかで申し込む。 Eメール:koza@community-design.jp		
8 参加費	無料		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	「北の住まいるタウン」推進の観点から、積極的な報道をお願いします。当日取材を希望される場合は、それぞれ開催日の一週間前までに下記担当あてご連絡願います。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所)		
	同時レク		

担当(連絡先)	建設部建設政策局建設政策課 課長補佐 大久保 圭介 TEL 011-231-4111 (内線29-804) 直通 011-204-5284		
---------	--	--	--



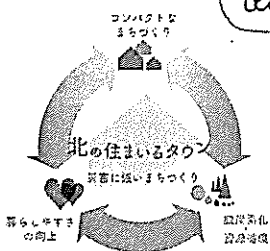
# まちづくりセミナー 2023

～道内外の4事例に学ぶまちづくりの進め方～

## 防災

北海道では、人口減少・少子高齢化や広域分散型の都市構造などの課題に対し、北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の実現に向け取り組んでいます。

この取組を進めるためのヒントとなり、道内の様々な地域でも課題とされるテーマについて、道内外の先進事例に学ぶまちづくりセミナーをオンラインで開催します！地域のまちづくりに関心のあるみなさん、一緒にこれからのまちづくりの進め方を考えましょう！



日時 2023年

スマートな  
まちづくり

定員

北海道建築士会認定 CPD プログラム

土木学会認定 CPD プログラム

2月3日(金) 13:30▶16:00 70名

対象 まちづくりに関心のある道内在住の方

オンライン  
で開催!!

参加費  
無料

テーマとご紹介いただく事例

## テーマ 1 住民と行政が協働で進める防災対策

高知県  
黒潮町

「犠牲者ゼロ」をめざす南海トラフ地震対策

講師:黒潮町 情報防災課 課長 村越 淳氏



2012年3月、南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高の推計が公表され、黒潮町は日本一厳しい数字であった。住民の参画で「戸別津波避難カルテづくり」や「地区防災計画」に取り組み、「防災の町という資源」を手に入れた。

標津町

「標津町オリジナルHUG」の作成と  
「地域循環型防災教育」の構築

講師:標津町 住民生活課 危機管理室長 和田 直人氏



標津町は洪水や大雪、高潮の被害を受ける恐れがある地域で、防災教育に力を入れてきた。標津高校では町と協働で「標津町オリジナルHUG」を作成し、地域住民と共に実践。高校生が防災リーダーとして出前教育にも取り組む。

## テーマ 2 未来へつなぐスマートなまちづくり

香川県  
三豊市

福祉MaaSやグリーン・スロー・モビリティなど  
新しい取組を進めるSDGs 未来都市

講師:三豊市 政策部 交通政策課 課長補佐 近藤 佳隆氏



三豊市のSDGs未来都市計画の中心事業が、離島の活性化を目指した「スマートアイランド推進プロジェクト」で、ICTやドローンなどの新しい技術を駆使し、離島の交通や輸送の課題解決を目指した。現在は福祉MaaSにも取り組んでいる。

上士幌町

ゼロカーボン上士幌の実現と  
スマートタウンの構築を目指して

講師:上士幌町 ゼロカーボン推進課 主幹 井溪 雅晴氏



上士幌町では、牛のふん尿を資源としたバイオガス発電によるエネルギー地産地消、太陽光発電設備の導入支援、住民の行動変容を促す仕組みづくりなど、地域脱炭素の実現に向けて取り組んでいる。2022年4月、環境省「第1回脱炭素先行地域」に選定された。

お申込方法は裏面をご覧ください。▶▶▶

# プログラム

時間		内容	
13:15~		開場	Zoom入室開始
13:30~13:40	10分	開会	開会あいさつとプログラム紹介
13:40~14:10	30分	事例紹介①	「犠牲者ゼロ」をめざす南海トラフ地震対策
14:10~14:35	25分	事例紹介②	「標津町オリジナルHUG」の作成と「地域循環型防災教育」の構築
14:35~14:45	10分	質疑応答	テーマ1についての質疑(chatからのご質問に対応)
14:45~14:50	5分	休憩	
14:50~15:20	30分	事例紹介③	福祉MaaSやグリーン・スロー・モビリティなど新しい取組を進めるSDGs未来都市
15:20~15:45	25分	事例紹介④	ゼロカーボン土土機の実現とスマートタウンの構築を目指して
15:45~15:55	10分	質疑応答	テーマ2についての質疑(chatからのご質問に対応)
15:55~16:00	5分	振り返り	
16:00		終了	

テーマ **①** 住民と行政が協働で進める防災対策

テーマ **②** 未来へつなぐスマートなまちづくり

## 北の住まいるタウン まちづくりセミナー 申込方法など

申込締切 **2023年1月31日(火)**

- 左下の申込フォームから、またはEメールに「氏名」「所属・役職など」「お住まいの市町村」「メールアドレス」「CPD申請の希望の有無」を記載のうえお申込ください。
- お申込後にZoomウェビナーの登録URLをお送りしますので、事前登録をお願いします。
- お申込後、3日以内(土日祝除く)に返信が無い場合は、お手数ですがお問合せください。
- 定員70名、先着順

ご記入いただいた個人情報は、本事業の運営管理の目的のみに使用させていただきます。

● 土木学会 CPD 単位登録申請を希望される方へ  
受講後、セミナーにて得られた所見(学びや気づき)を100文字以上でまとめて、終了後にお知らせする方法でご提出ください。[1.9単位取得]

● 北海道建築士会 CPD 単位登録申請を希望される方へ  
申込時に、建築士会CPD番号(または建築士番号等)をお知らせください。[2.0単位取得]

※他団体に提出する場合の方法については、各提出先の団体に事前にご確認ください。

主催：北海道 建設部 建設政策局 建設政策課 (電話011-204-5284 担当：内山)

お申込・お問い合わせ先：(株)石塚計画デザイン事務所 (担当：蔵田・小林)

**Eメール** [koza@community-design.jp](mailto:koza@community-design.jp)

**電話** 011-251-7573 (平日9:30~18:00)



申込フォームはこちら  
<https://qr.quel.jp/pv.php?b=3Vcx11N>

「北の住まいるタウン」ホームページ [http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tki/kitasuma\\_top.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/tki/kitasuma_top.htm)

**f** facebookページもご覧ください。  
「北の住まいるタウン」



北の住まいるタウン

第一線で活躍する講師陣から

まちづくりの最新情報とノウハウを学び、

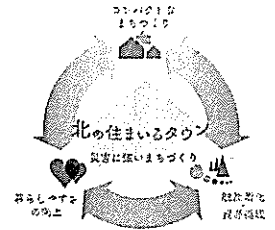
みんなで交流しよう

道内市町村職員向け

# まちづくり交流会

北海道では、人口減少・少子高齢化や広域分散型の都市構造などの課題に対し、北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の実現に向け取り組んでいます。

この交流会では「北の住まいるタウン」の実現に向けた2つのテーマを設け、最前線でそのテーマに取り組む行政職員、民間事業者、学識経験者の方々から課題解決につながる実践的なノウハウを学び、講師や他の参加者との意見交換や相談を通じてテーマへの理解を深めます。



日時：2023年2月15日(水) 10:00~ / 14:00~ 参加費：無料

定員：各テーマ20人(先着順) 場所：オンライン(Zoom)で開催

※受付期間は1月25日(水)まで

▶ 選べる受講テーマ ▶ テーマ① / テーマ② / 両方受講 / のいずれかを選んでお申込ください

テーマ① 時間10:00▶12:00

## 未来技術を活用した暮らしやすさの向上

講師1

川村 秀憲 氏

(北海道大学大学院情報科学研究科教授)

<講義内容>

まちづくりにおけるAIやICTなど、未来技術の活用と可能性を知ろう!

講師2

鈴木 聡士 氏

(北海学園大学工学部 教授)

<講義内容>

北海道内の地域交通施策とAIやICT活用の可能性を知ろう!

テーマ② 時間14:00▶16:00

## 地域資源を活かした脱炭素なまちづくり

講師3

小高 大輔 氏

(環境省 北海道地方環境事務所)

<講義内容>

ゼロカーボン施策の動向や支援策、地域の事例を知ろう!

講師4

大友 詔雄 氏

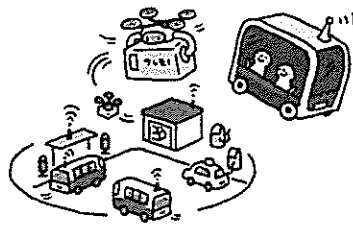
(株式会社 NERC 代表取締役)

<講義内容>

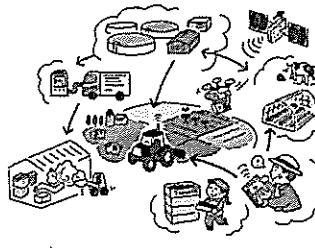
市町村におけるエネルギー施策の可能性や実践ポイントを知ろう!



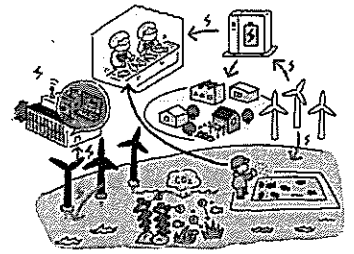
AIやICTの活用



MaaSやAIの活用



ゼロカーボンの推進



多様なエネルギーの活用

未来技術の活用で地域の課題を解決したいと思う人に

地域の資源を活用してゼロカーボンを進めたいと思う人に

裏面の申込事項を申込フォームまたはメールに記載のうえお申込みください▶



北海道

主催：北海道(建設部 建設政策局 建設政策課)

運営：「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者 株式会社石塚計画デザイン事務所



北の住まいるタウン

# まちづくり交流会

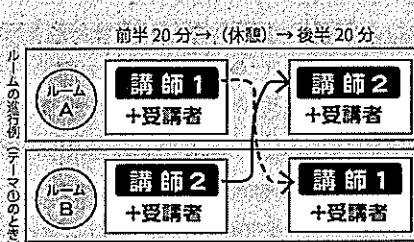
## プログラム

※各回開始時間の15分前より接続可能です

テーマ①	テーマ②	内容
10:00	14:00	オリエンテーション (5分)
10:05	14:05	講演 1 (30分)
10:35	14:35	講演 2 (30分)
11:05	15:05	(休憩 5分)
11:10	15:10	交流・相談タイム前半 (20分)
11:30	15:30	交流・相談タイム後半 (20分)
11:50	15:50	全体でふりかえり
12:00	16:00	修了

## 交流・相談タイム

申込時にテーマに関する疑問や講師に聞きたいことなどを記載してください!! 寄せられた意見をもとに、課題解決への取組や具体的に取組を始める上での疑問点など、各講師にご相談ください。交流・相談タイムは、下図のように2つのルームに別れて、



講師へ直接質問をしたり、参加者同士での情報交換や交流が可能です。20分ごとに講師が入れ替わります。

第一線で活躍する講師陣からまちづくりの最新情報とノウハウを学び、みんなで交流しよう

## 講師のご紹介

### テーマ① 未来技術を活用した暮らしやすさの向上

#### 講師 1

川村 秀憲 氏

(北海道大学大学院情報科学研究科 教授)

2000年北海道大学大学院工学研究科システム情報工学専攻博士課程修了。同年4月同大学助手。2006年同大学准教授、2016年同大学教授となり現職。株式会社調和技研、フュージョン株式会社、株式会社インターパーク、株式会社 Aill 社外取締役。研究分野は情報通信、人工知能など。AIは人や社会生活を幸せにするシステムとして「調和」する存在という考えのもと、企業との産学連携や共同研究を積極的に行い、研究成果を社会に還元し続けている。

#### 講師 2

鈴木 聡士 氏

(北海学園大学工学部 教授)

北海学園大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。2008年北海学園大学工学部准教授を経て2013年より現職。2022年より環太平洋地域学会機構(PRSCO)事務局長。専門は情報数理、データ・マイニング、環境・エネルギーシステム、都市・地域・交通システム。公職として国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、北海道、札幌市、岩見沢市、千歳市、北広島市、白老町など、様々な地域のまちづくりや交通政策などに携わっている。

### テーマ② 地域資源を活かした脱炭素なまちづくり

#### 講師 3

小高 大輔 氏

(環境省 北海道地方環境事務所)

2009年一橋大学経済学部卒業。同年環境省に入省。地球環境局国際連携課国際戦略係長、所沢市役所環境クリーン部次長、自然環境局総務課課長補佐を経て2021年5月から現職。北海道地方環境事務所地域脱炭素創生室は、脱炭素先行地域の案件形成、国の出先機関で構成される「ゼロカーボン北海道タスクフォース」の運営、市町村向けの補助金・制度の支援ツールの策定、脱炭素経営・ESG地域金融の普及啓発、温対法・適応法の地域での運用などに取り組んでいる。

#### 講師 4

大友 詔雄 氏

(株式会社 NERC 代表取締役)

1971年北海道大学大学院工学研究科博士課程中途退学。工学博士。工学研究科助手などを経て2001年9月(株)北海道自然エネルギー研究センター(現(株)NERC自然エネルギー研究センター)設立。2012年4月(株)NETC自然エネルギー技術センター設立。2022年日独 JV 独 BES バイオエナジーソリューションズ設立。総務省地域資源・事業化支援アドバイザーなども務めつつ、自然エネルギー技術の研究開発と実践経験に基づく地域資源(特にバイオマス)の利活用の調査・計画づくり・技術導入支援を行っている。

## 参加申込書方法

申込締切: 2023年1月25日(水)

各テーマ先着20人

※定員に達し次第締切

- 右の申込フォーム、または E メールに 1 メールアドレス / 2 氏名 / 3 所属・役職など / 4 お住まいの市町村 / 5 受講テーマ (テーマ①、テーマ②、両方受講のいずれか) / 6 講師に聞きたいことや参加者と情報交換したいこと / を記載のうえお申込みください。[先着各テーマ 20人]
- 申込受付後にメールアドレスへ Zoom の接続 URL をお送りしますので、当日までに事前登録をお願いします。
- 当日は開始時間の15分前から Zoom に接続可能です。
- お申込後、3日以内に返信が無い場合は、お手数ですがお電話でお問合せください。
- ご記入いただいた個人情報は、本事業の運営管理に使用します。

申込フォーム



主催: 北海道 建設部 建設政策局 建設政策課 (電話011-204-5284 担当: 内山)

お申込・お問い合わせ先: (株)石塚計画デザイン事務所 (担当: 蔵田・小林)

E-mail

koza@community-design.jp

電話

011-251-7573

(平日9:30~18:00、12/28~1/6を除く)



facebookページもご覧ください。「北の住まいるタウン」